

人間は他の命と 共に生きることを 忘れてはいけません

学校法人ヤマザキ学園(ヤマザキ学園大学) 理事長 山崎薫
まごめ/堀水潤一 撮影/中岡邦夫



【理事長プロフィール】サンフランシスコ州立大学芸術学部卒業。麻布大学大学院獣医学研究科 動物応用科学博士課程修了。1994年、学校法人ヤマザキ学園理事長。2008年ヤマザキ動物看護短期大学学長。10年ヤマザキ学園大学副学長。
【大学プロフィール】1967年創立の「シブヤ・スクール・オブ・ドッグ・グルーミング」を前身に2010年4月開学。動物看護学部 動物看護学科に、動物看護コース、動物応用コース、動物介在福祉コースを配置。1年次は渋谷、2～4年次は南大沢キャンパスで学ぶ。

本学園の創始者 山崎良寿は、1967年にイヌのスペシャリストを養成するスクールを開設しました。背景には、生来のイヌ好きに加え、学徒出陣の経験ゆえに、生命に対する畏敬の念を強くもっていたこと。また、戦後の混乱期に教職を務めるなか、女性の自立の必要性を痛感し、女性に向く職業学校を創設したいと常に考えていたことがあげられます。

今や人間の生活にコンパニオンアニマル(伴侶動物)の存在は欠かせません。かつてのような番犬ではなく、家族の一員や人生のパートナーという面が出てくると、ケアやしつけを行うグルーマーやトレーナーなどの専門家に加え、動物看護のプロの必要性も高まってきました。もともと獣医学は産業動物を対象に発達してきましたが、そこに看護という概念はありませんでした。しかし家庭動物に対する医療が高度化、専門化していくなか、これに対応する良質な教育を受けた動物看護師の育成が急務です。「ヤマザキの歴史は動物看護の歴史」と言われてきた本学園が、専修学校認可(94年)、短期大学開学(04年)に続き、この春4年制大学を開学したのはまさにそのためです。動物看護学部は日本初だけに苦労はしましたが、素晴らしいカリキュラムがで

きあがりしました。必修の動物病院でのインターンシップを含め、4年間を通して実習が多いのが特徴です。動物看護学を中心に、心理学や社会福祉など人文科学、社会科学系の学問領域もカバー。3年次からは動物看護、動物応用、動物介在福祉という、ゆるやかなコース制のなかで専門性を磨いていくことになりました。

本学園は各校舎に「礼節」の2文字が貼られています。堅苦しい話ではありません。相手の立場に立つ。思いやりの心をもつということです。それは、動物に携わる者であればなおさら必要なこと。お腹が空いているのか、喉が渇いているのか、痛いのか、痒いのか。動物の声なき声に耳を傾ける。それには想像力が必要であるし、広い意味でのコミュニケーション能力も問われます。私たちは二人で生きているのではなく、他の命と共に生きることを忘れてはいけません。

建学以来のこの教育理念は、今後も100年、200年と継承されていくことでしょう。まずは、学生さんと教職員が力を合わせ地盤作りを行いたいと思います。まだ1学部1学科の小さな大学ですが、「どこにもない大学、新しい大学を創る」を合言葉に、既存概念に捉われないとなく挑戦を続けたいと考えています。